

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和5年5月11日（木）
午前11時40分～午前11時44分
- 3 場所 議場
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 行政課長 佐野剛
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 副議長選挙に係る所信表明

関戸議長：皆さん、全員協議会にご参集いただきありがとうございます。これより全員協議会を開催いたします。副議長選挙にあたり所信表明の実施を希望する届出が議員1名から提出されました。

早速ですが、これより所信表明を行います。片岡健一郎議員、所信表明をお願いいたします。登壇してください。

片岡議員：このたび、岩倉市議会副議長に立候補するにあたり所信を表明させていただきます。

歴史と伝統ある岩倉市議会におきまして、副議長の重責を担う覚悟、そして所信の一端について、述べさせていただき、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、議員就任後2期5年目となりますが、これまで議会基本条例の趣旨にのっとり、さまざまな課題に取り組んでまいりました。特に議会基本条例推進協議会では、ICTチームのチームリーダーを四年間務めさせていただき、議会における情報公開についての取り組みなどを推進してまいりました。具体的には、皆様のご協力をいただき、常任委員会における録画配信の開始やアプリを利用した議会内における連絡やスケジュールの情報共有推進をはじめ、タブレット導入による議会のペーパーレス化や議事録の音声認識システム導入による効果を調査するなどを行ってまいりました。

これからも私はICT化による議会の合理化やコストダウンと共に、更なる情報公開により市民の皆様が議会へのご理解を深めていただきたいと考えております。また今回の岩倉市議会一般選挙の投票率低下を議会全体としてどう捉えるのか、このことについても議員の皆様と考えていかなければならないと思っております。

私は議会全体で取り組めることとして、主権者教育について岩倉市議会でき取り組めないかと考えております。たとえば有権者になる前の中学生や高校生に対し岩倉市議会として出張授業を行うなど、選挙を自分ごととして考えるきっかけを作る取り組みでございます。以上特に取り組んでまいりたい2点を申し上げます。

今申し述べました2点は私の考えでございますが、ほかにも議員の皆様と協議しながら、課題解決のため、個々の事情に応じ、より良い議会のあり方の理想を目指して改善を推進していく所存です。議長と協力し議長を補佐しお支えすることは言うまでもなく、議員の皆様のご意見を真摯にお伺いしながら円滑に議会運営できるよう副議長としての責務を果たしてまいります。議員各位のご理解とご協力、ご指導、ご鞭撻をお願い致しまして私の所信表明とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

関戸議長：ありがとうございました。申し合わせにより所信表明に対する質疑は行いません。

所信を表明された議員は以上の1名であります。この後、本会議にて副議長選挙を実施致しますが、選挙の方法については地方自治法第118条第1項の規定に基づき投票により行います。その他、何かございませんか。

(発言する者なし)

関戸議長：何もないようですので、以上で全員協議会を終了致します。